

安茂里地区に所在もしくは通学区としている保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校、一般の音楽活動を行っている団体を対象にして、音楽を通じて世代を超える交流と、まだ楽器や音楽に慣れ親しんでいない子どもたちへのプレゼ

ンテーションを企画しました。また、音楽が持つ素晴らしさを地域住民と共有し、元気で明るい活発かつ健全な地域づくりに貢献するとともに、文化芸術活動を高めていくことを願って毎年継続して開催しています。

安茂里音楽祭 ふれあいコンサート

安茂里地区を音楽で触れる地域に！
子供たちが音楽の素晴らしさを体感できる
コンサートを目指して！



200人の合同演奏「星条旗よ永遠なれ」



裾花ポプラマーチングバンド

ふれあいコンサートは、安茂里地区住民自治協議会の協力ののもとに2016年に開催され、今年で第3回目になります。今年出演していただいた団体は、松ヶ丘保育園鼓笛隊、裾花ポプラマーチングバンド、安茂里小学校合唱団、松ヶ丘小学校合唱団、裾花中学校吹奏楽部、長野吉田高校吹奏楽班、MAMIDORI（オーボエ・ピアノ演奏）、安茂里吹奏楽団。

今年には新たに松ヶ丘小学校合唱団とMAMIDORIに参加していただきました。年々入場者も増えてきており、今年に入場者だけで600人、出演者300人に加えると約1,000人に達する勢いになってきております。出演者と入場者の行き来が廊下階段一本ということで大変混雑し、危険な状態です。そのため来年は試行的にもっと広い場所での開催も考えています。安茂里地区の皆様には若干ご不便をおかけしますが、音楽環境が整った素晴らしい会場での演奏を楽しみにしていただきたいと思います。年々充実したコンサートになってきています。(文：由和明)



松ヶ丘保育園鼓笛隊

安茂里地区 世帯数と人口 (10月1日現在)

世帯数	9,078戸
総人口	21,100人
男	10,114人
女	10,986人

杏仁

「彼岸花」とは、よく言ったものだ。毎年決まって秋のお彼岸頃になると、線香花火のような真っ赤な花が野山に咲き乱れる。別名曼珠沙華（まんじゅしゃげ）とも言われるこの花は、墓地や田畑の土手に植えられ、一見不吉な花とも見られがち。花が咲いた後に葉が出る普通の植物とは生長が逆で、墓地に群生することからのイメージがそうさせるのだろうか。また全草に毒があることから、近付き難い花でもある。▼この花がなぜ墓地に咲いているのかというと、土葬の昔は仏様をモグラやネズミが食い荒らさないよう近くに毒花を植えたとか、田畑の土手をモグラに荒らされないためという。また飢饉の年には水によく晒して飢えをしのぐ救荒食とし、普通の場所以外に植えたという話も伝わる。▼今夏の酷暑の後には雨続きで、やっとな秋野菜の段取りとなった。玉ねぎや長ねぎの種蒔用の地作りに取り掛かると、長ねぎは「彼岸ネギ」といってその頃に蒔くのが良い、と古くから教わった。11月上旬には長ねぎの針のような芽が、順調に育って来ていることだろう。

公民館運営委員会から⑤

運営委員に

任命されて

副委員長 松本 裕文



安茂里公民館事業を推進するに当たり、

色々な面で関係が強い教育文化部会の意見が必要との指摘が昨年度の住自協役員会で出され、教育文化部会長の立場で大役を引き受けることになりました。

指定管理1年目の昨年度は公民館職員が全員新しくなったこともあり、事業は前年踏襲として実施してきましたので、教育文化部会も同様に新しい事業は実施しませんでした。

しかし、2年目となる平成30年度は新たな取り組みをして行く必要があります。30年度の事業計画作成には苦労したと思われまふ。特に予算の大幅増が出来ない中で、新規事業は教育文化部会との共催として計画し、極力経費削減の努力もしながら進めています。新たな取り組みとしては、

① 館報作成研修（館報作成担当者向け）

② 地域公民館長研修会
③ 現役世代向け講座

等を共催で実施してきました。この結果については次年度に生かしたいと思っています。

また、運営委員会として、課題である、

① 構成団体等の事務局業務の移管

② 公民館利用者の要望収集
③ ホームページの作成

について分科会方式で検討を行っており、その結果は住自協役員会及び安茂里公民館に提言して行くことになります。地域住民や長野市民にとって使い易い安茂里公民館になることを願って、運営委員を務めてまいります。



館報作り研修

平柴弥勒寺組の
蚕神祭り

かつて養蚕は、農家にとって現金を得るための大切な収入源であった。安茂里地区も桑畑が広がり盛んに飼育され、秋には収穫のお祝いが各地域でなされた。畑作中心の平柴地区でも戦後まもなくまでは養蚕が盛んで、阿弥陀寺上の高台に大正三年建立の蚕神様（かいこがみさん）の祠を祀り、毎年10月第一土曜日に祭りをしてきた。

平柴は上から弥勒寺・中・当（とう）・中屋敷・夏目ヶ原の5組に分かれ、現在も獅子舞を奉納しているのは弥勒寺組と当組のみであるが、かつ



蚕神様



神楽のお囃子

ては5組それぞれが祀っていたという。弥勒寺組の場合も、戦時中一時途絶えたが戦後まもなく復活し、現在は天神祭りと呼んで引き継いでいる。

道中のお囃子の太鼓、笛は子ども達が中心で、獅子舞の三番叟は5・6年生の男子が本祭と蚕神様の祭りに舞う。今年三番叟は安茂里小学校5年の西村奏人君と山王小学校5年の藤原琢己君が立派に舞い納めた。

夕飯後、神楽が公民館から蚕神様を祀る高台まで上り、祠前で獅子舞奉納となる。子どもの三番叟に続き大人の本舞が終ると下山し、阿弥陀寺本堂内で舞い、地元に大変寄与された藤原銀次郎氏を祀った道祖神碑前で



子どもの三番叟



大人の本舞



紅白の繭玉団子

舞った後、組内中央の桶池（よのいけ）前で舞う。阿弥陀寺では、参加者に酒と繭玉団子が振る舞われる。また今年新築した二軒の家にも舞い込み、当家の繁栄と安泰を願って獅子を舞って祭は終わりと成る。

地域公民館

だより③

区を越えて交流・親睦

小市公民館長

喜多 英之



小市4地区運動会で「ムカデ競争」

旧村の面影を残す地域と、比較的新しい戸建て団地やアパートが建つ地域が混在する小市区では、公民館は区民のコミュニティの拠点としての役割を果たしています。公民館活動以外にも、区の行事や神楽囃子保存会、若者連、各種サークル活動の場所として多くの区民が利用しています。

公民館役員は40歳代から50歳代の15人が担っています。

「壮年部」ともいえる現役世代が担っているのが特徴です。2年前には公民館活動50周年を祝賀する記念式典・パーティーを開き、記念誌も発行しました。

公民館の行事は、安茂里スポーツの祭典への参加、小市南団地と共同で開く盆踊り大会、小市4区が主催する区民運動会が毎年の柱となり、2年に1回は小市独自に文化芸能祭も開いています。

今年の4地区運動会は、少子高齢化の影響を受けて参加者が年々減っていきな、今までの4区対抗で得点を競い合う方式から、2地区ずつが紅組・白組をつくる紅白対抗戦に切り替えました。区を越えて交流する機会が少なくなっている現状で、4地区運動会は今後も交流と親睦の場として継続していきたいと考えています。

全世代の盛り上げを！

小柴見公民館長

佐藤 重房

小柴見公民館は、毎年様々な行事に取り組んでいます。安茂里スポーツの祭典では、

野球・マレットゴルフ等に参加しています。地域をあげて毎年沢山の方々の応援にも熱が入ります。そして区民ふれあい旅行。今年は、東京見学に行ってきました。明治神宮、築地、浅草、東京スカイツリーを回りました。バスの中ではカラオケですごく盛り上がりしました。築地で食べたお寿司もおいしかったです。7月には最大の行事、納涼パーティーがあります。わたあめ・かき氷・やきとり・やきそば等を皆で手作りしています。スーパードルフィン釣り・射的には行列が出来ます。9月には区民ふれあいスポーツ大会として、ボーリング・マレットゴルフを一年おきに行っています。全ての行事を世代間交流行事として、子どもからお年寄りまで一緒に取り組んでいます。

今後の行事予定は、もちつき大会・マージャン大会・文化芸術祭と続きます。文化芸術祭は今年30回を迎えます。小柴見では世代を問わず、全ての行事に楽しく取り組んでいます。行事を通して区民のつながりが強くなっていますので、これからも全世代で

盛り上げていきたいです。



はっけよい、のこった!のこった!

盛り上げる

元旦区民マラソンなど

小路公民館長

住澤 敏明

小路公民館は、区民の皆様と共に、主に文化的事業に取り組んでいます。5月の安茂里地区スポーツの祭典への参加に始まり、8月には、西河原区の皆様と合同の盆踊り大会主催、11月の文化祭開催、新年元日の区民元旦マラソン

等に参加、開催しています。特に区民元旦マラソンは、安茂里地区の中でも特色ある行事として区民の皆様に参加いただいています。小路公民館をスタートして犀川神社を折り返して小路公民館までのマラソンコースです。近年は、



区民元旦マラソン

幼児、小学生の子どもさんの参加も増え盛んになっています。マラソンの後には賞状、賞品授与も行っていて、参加者は真剣に取り組んでいます。また本年は、小路公民館発足五十周年の記念年になりました。いくつかの記念事業を行っています。その中のひとつに、三十五周年記念事業として行った、区民の皆様への記念の品をタイムカプセルに入れ公民館が保管し、五十周年に開封するという事業に今取り組んでいます。さて、どんな展開になりますやら、公民館役員一同記念事業に参加できる喜びをもって取り組んでいます。

いずれの行事も、区民の皆様の参加、協力があつてこそと認識しています。そういう意味で、団結力がある区であると思っています。

公民館講座 の紹介

菅平高原の 植物を訪ねて

8月22日下界の猛暑をよそに、菅平高原ダボスの丘での植物観察会が行われた。県環境保全研究所関連の川上美保子・浦山佳恵両先生の指導の下、キキヨウやゴゼンタチバナなど、一足早い初秋の草花を愛でることが出来た。平地に比して亜高山帯の丈の短い草花の一つ一つ丁寧な説明を聞きながら、高原の爽やかな空気を一杯吸えた講座となった。



菅平高原ダボスの丘で

ときめきのある生活 ～ジャズの調べ～

9月5日飯綱町の阿弥陀寺住職久遠峰志住職による、ジャズの調べが開かれた。新企画の講座では、住職の講話の合間にサククスによるジャズや歌謡曲が流れ、午後のひと時をゆったりとした時間が過ごせた。新聞の声欄に寄せられた人々の想いや願いを拾い上げながら、人生ときめきのある生活を大切にして過ごそうと話された。



ジャズの調べ

川崎中島合戦に いざ出陣!

9月22日の川中島合戦に係した講座では、合戦話を別の視点からとらえた市立博物館の特別展を見学し、樋口明

里学芸員の説明で学んだ。合戦での武田信玄や上杉謙信をはじめとする登場人物が、悲劇のヒロインとして芝居の世界では、浄瑠璃や歌舞伎で語り継がれ、後世民衆の心を捉えてきたことを知った。また信玄の弟武田信繁が討死し弔った典厩寺を見学し、県立歴史館では信玄が部下の戦功を褒めたたたえた貴重な「感状」を、小野和英課長、村石正行専門主事の説明のもと直に見せていただくなど、盛りだくさんの川中島合戦見学講座となった。



市立博物館にて



「感状」県立歴史館にて

第18回安茂里地区 囲碁将棋まつり

8月19日(日)に開催された本大会も、今年で19回を迎えた。50名程の参加者が集まり、猛暑の中、真剣な対局が行われた。

将棋の部 優勝者

- ・二段以下 中村 福雄
- ・三～五段 庄村 俊一
- ・四～五段 寺島 稔

囲碁の部 優勝者

- ・二段以上 栗原 孝明
- ・一段以下 竹村 芳夫

※詳細はチラシにて

◎安茂里の歴史・文化を訪ねて ～大門の数珠回し～

- 日時 2月2日(土)
- 定員 20名
- 申込 1月11日(金)～
- 午後8時50分～

なかよし広場

- ◎楽しく遊ぼう
- ④「アンパンマンごっこ」
- 11月7日(水)

⑤「クリスマス会」

- 12月12日(水)
- 各回午前10時～

杏の里教室

- ◎映画を楽しむ
- 日時 12月4日(火)
- 午後1時30分～

豊かな生活育てましょう 安茂里公民館226-4059

生活文化講座

- ◎四季の和菓子作り④(春)
- 日時 12月3日(月)
- 午後1時30分～

定員 24名

- 材料費 500円
- 申込 11月13日(火)～

- ◎フラワーアレンジメント
- を楽しむ②

- 日時 12月19日(水)
- 午前10時～

定員 20名

- 材料費 1、500円
- 持ち物 エプロン、タオル
- 花バサミ、軍手、
- 申込 11月28日(水)～